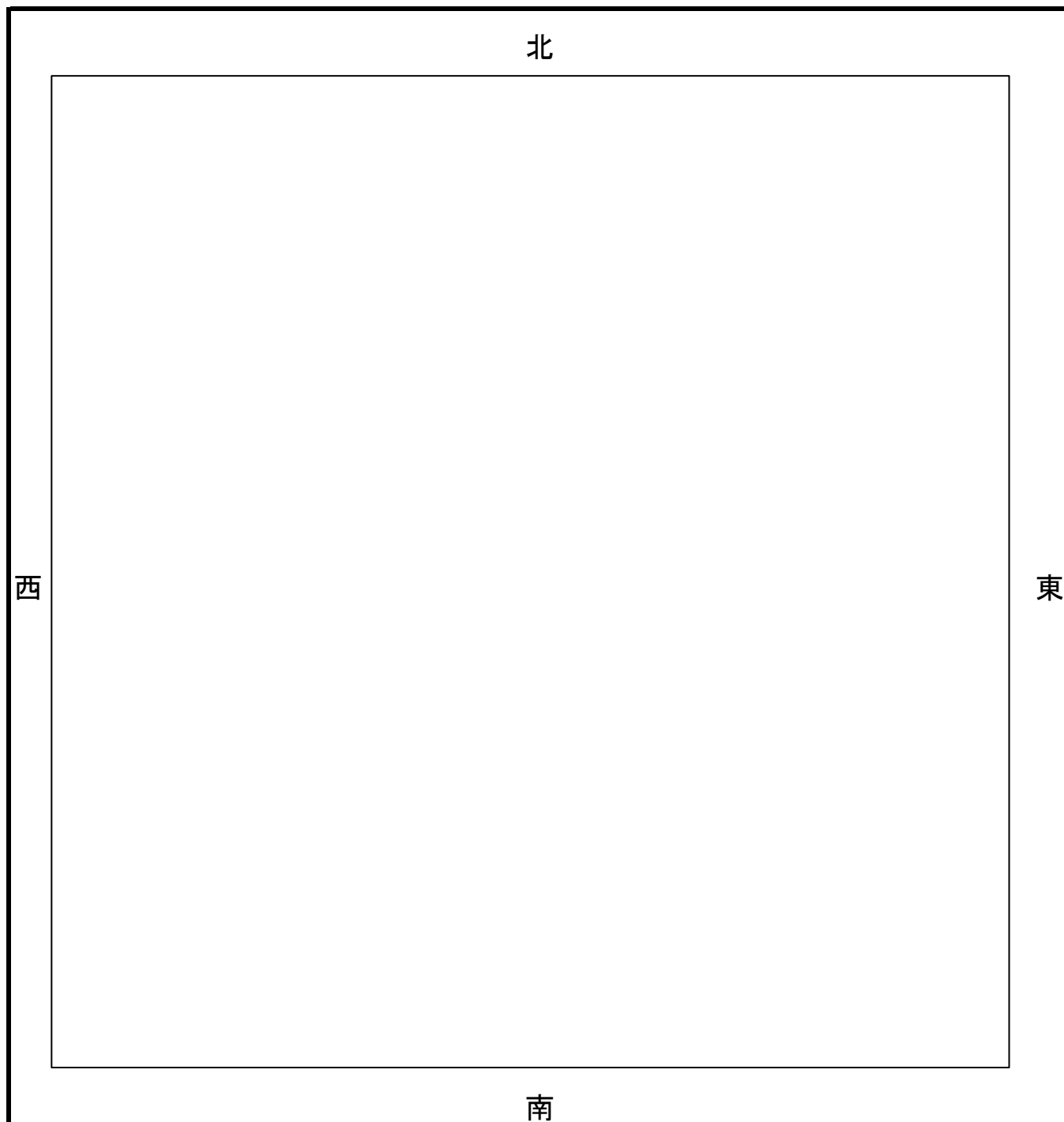


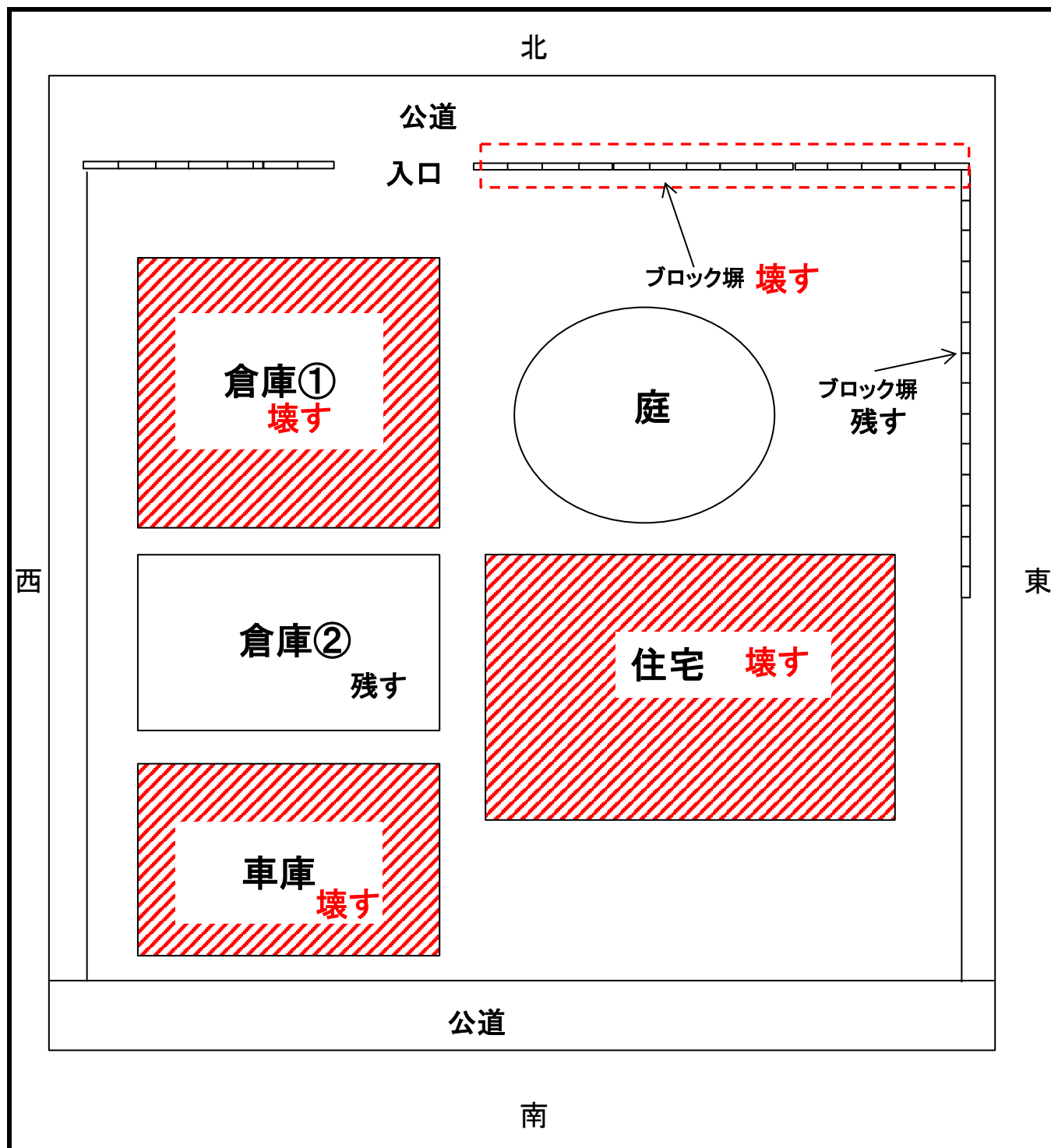
被災建築物等の配置図



【作成上の注意】

- 1 枠内の方位に従って、枠内に敷地全体が収まるようにお描きください。
- 2 敷地内の建物は、すべてお描きください。
- 3 解体した建物には「解体」と記入した上で、斜線で表示するか、赤色鉛筆で色を塗ってください。
- 4 解体をしていない建築物等には「残し」と記入してください。
- 5 建物には、「住宅」、「事業所」、「作業所」、「店舗」、「倉庫」などの名称を書き加えてください。

(記載例)
被災建築物等の配置図



【作成上の注意】

- 1 枠内の方位に従って、枠内に敷地全体が収まるようにお描きください。
- 2 敷地内の建物は、すべてお描きください。(浄化槽位置等も分かる範囲で記載してください)
- 3 解体したい建物には「壊す」と記入した上で、斜線で表示するか、赤色鉛筆で色を塗ってください。
- 4 解体を希望しない建物等には「残す」と記入してください。
- 5 建物には、「住宅」、「事業所」、「作業所」、「店舗」、「倉庫」などの名称を書き加えてください。

状況写真

※解体、撤去及び処分を行った被災建築物等（塀を含む。）が確認できる写真（全体写真、家屋等の棟別の写真）を貼り付けてください。

※必要に応じてコピーして使用してください。

解体工事費用内訳書

★解体業者が記入/作成

被災建築物等 所在地										
所有者氏名 (依頼者)										
工事年月日	令和 年 月 日 ~					令和 年 月 日				
被災建築物(解体 建物)の種類	☐ 住宅 ☐ 倉庫・物置 ☐ 分譲マンション(名称)									
	☐ 賃貸マンション ・ 寮 ・ 社宅(名称)									
	☐ 事務所・店舗・作業所 ☐ その他()									
家屋の構造	☐ 木造 ☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ 重量鉄骨造 ☐ 軽量鉄骨造									
	☐ その他()									
延床面積	階数		階	延床 面積		m ²	基礎 面積		m ²	
				1階 面積		m ²	2階 面積		m ²	
工事費総額				円	(①+②+③+④+⑤)					
①解体費				円	工事内容等					
a上屋	木造			円	☐ 人力・機械併用		☐ その他()			
	S造			円	☐ 鉄骨カッター		☐ その他()			
	RC造			円	☐ 圧碎機		☐ その他()			
b仮設工事			円	☐ 足場掛け		☐ その他()				
c困障等解体			円	☐ 門塀 立木		☐ その他()				
d基礎解体			円	☐ 基礎撤去		☐ その他()				
e設備等撤去			円	☐ ()		☐ ()				
②運搬費			円							
③調査費			円	※アスベスト事前調査費等						
④産廃処理費				※マニフェスト伝票(写し)添付						
⑤諸経費			円	※(①+②)×15%以内(③調査費と④処分費は諸経費の対象外)						
⑥消費税			円	(①+②+③+④+⑤)×10%						
特記事項										
添付書類	☐ 工事写真(施工前・工事経過・竣工) ☐ 解体家屋の平面図(面積求積図※1Fと2F分けて作成)									
	☐ 面積測量状況写真(全景、数値が分かるようメジャーの目盛りアップ写真)									
施工業者	令和 年 月 日									
	所在地									
	会社名									
	代表者名									
	担当者名									
	電話									

委任状

令和 年 月 日

能登町長 様

(所有者・委任者) ふりがな 氏 名 実印

住民票住所：

生年月日： 大・昭・平 年 月 日

日中に連絡が
つく電話番号

※必ず委任者の印鑑証明書を添付してください。

私は、次の権限を下記の者に委任します。

- 1 私が所有する下記の被災建築物等の自費解体・撤去に係る償還申請に必要な書類を能登町に提出すること。
- 2 申請書類に不備がある場合、当該申請書の補正または取下げをすること。
- 3 当該償還申請に係る現地確認等の立会い。
- 4 そのほか当該申請に関して必要な一切の権限。

記

(受任者) ふりがな 氏 名 印

住 所

日中に連絡が
つく電話番号

・解体・撤去を希望する被災建築物等の所在地

石川県鳳珠郡能登町

・解体・撤去を希望する被災建築物等の種類、名称等

※り災証明書の記載内容又は不動産登記簿（登記事項証明書）に記載された家屋番号（又は符号）、種類、構造、床面積を記載してください。